

OPJ 2017 に行こう

OPJ 2017 プログラム委員長
小西 毅 (大阪大学)

開催まで2か月を切った日本光学会年次学術講演会 OPJ 2017. 今年はどうな催し・講演が企画されているのでしょうか. その見どころを紹介します.

本号巻頭のタイムテーブルをご覧ください. OPJ 単独のプログラムに加え, 昨年の OSA 創立100周年を記念して始まった OSJ-OSA ジョイントシンポジウムを今年も引き続き開催し, 英文予稿が OSA Publishing にも掲載されるようになりました. なお, OPJ 2017 の参加登録をすれば, すべてのセッションを自由に行き来できます. また, OPJ 2017 のポスターセッションで導入するフラッシュトークは, 興味を持たれたポスターをすぐにご覧いただけるように, ポスターセッション会場で実施いたします. さらに, 各賞の授与式・記念講演を1つのセッションにまとめています.

図1に OPJ 2017 の講演数を示します. 今年も多く企画と講演が集まりました. このように OPJ が毎年盛会であるのは, ご投稿・ご企画いただいた皆様の熱意はもちろんのこと, 推進委員の皆様の広報活動のご尽力にも大きく支えられています.

基調講演 今年の基調講演は鈴木正敏氏 (KDDI) に, 通信の大容量化を支える基盤技術のひとつである空間多重光通信に関するご講演をお願いしました. 時間系の光学と思いがちな光通信の世界に, 空間モードなど空間系の光学

をふんだんに取り込んでいくことが期待されており, 今後, 空間系の光学分野の技術の重要性がさらに増していくでしょう.

特別講演 OSA, EOS, SPIE よりそれぞれ要職にある方々をお迎えます. OSA からは President の Eric Mazur 氏, SPIE からは Board of Director の David Sampson 氏にお越しいただきます. 特に David Sampson 氏には, “High-resolution, label-free tissue imaging: Extensions of optical coherence tomography and their applications” と題して, OPJ でも関連講演の多い OCT についてのご講演をいただくことを予定しております.

OSJ-OSA ジョイントシンポジウム セッションは「ナノフォトニクス」と「デジタルフォトニクス」の2つ. 欧米, アジア, オセアニア, 日本国内から, 約10名の招待講演者などをお迎えます.

シンポジウム・授与式 日韓台ジョイントシンポジウムをはじめ, 各研究グループ企画シンポジウム, 各賞の授与式・記念講演が予定されています.

このほか, 前述の通り一般講演にも数多くの投稿が集まり, 本番での盛況が予想されます. いま一度, 巻頭のプログラムをご覧ください, 「OPJ 2017 に行こう」と予定していただければ幸いです. 事前参加登録の締切は9月29日です. それでは, OPJ 2017 でお会いしましょう.

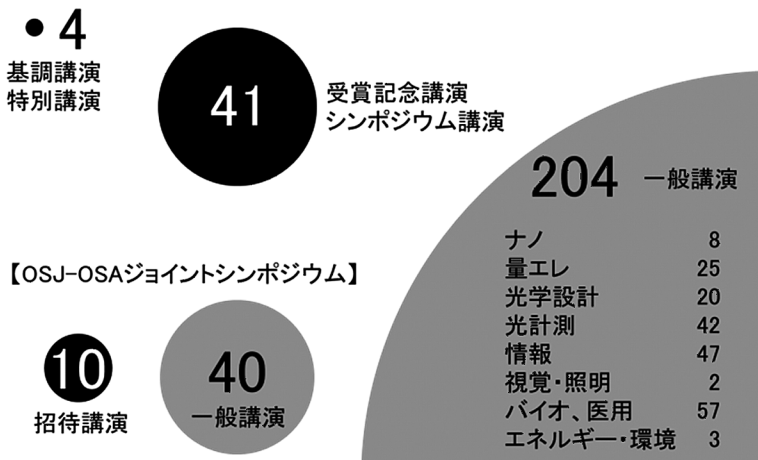


図1 OPJ 2017 で予定されている講演の数.



図2 過去の OPJ の一コマ.